

Express5800/320Fa-L(R), 320Fa-M(R)
Express5800/320Fb-L(R), 320Fb-M(R)
カレンダー補正パッチ 適用手順書 (Windows)

はじめに

本書は、カレンダー補正パッチの適用手順について記載しています。本書に記載されている内容をよく読んでご理解いただき、手順に従って適用を行ってください。

対象装置

本手順書は以下の装置を対象としています。

N8800-082, N8800-082A, N8800-082B, N8800-082(Z), N8800-082A(Z)
 N8800-083, N8800-083A, N8800-083B, N8800-083(Z), N8800-083A(Z)
 N8800-088, N8800-088A, N8800-088B, N8800-088(Z), N8800-088A(Z)
 N8800-089, N8800-089A, N8800-089B, N8800-089(Z), N8800-089A(Z)
 N8800-096, N8800-110, N8800-116, NP8800-116P1, NP8800-116P2
 N8800-097, N8800-111, N8800-117, NP8800-117P1, NP8800-117P2
 N8800-098, N8800-112, N8800-118, NP8800-118P1, NP8800-118P2
 N8800-099, N8800-113, N8800-119, NP8800-119P1, NP8800-119P2

構成品

カレンダー補正パッチの構成品を確認してください。

項番	品名	指定	数量	備考
1	Express5800/320Fa-L(R), 320Fa-M(R), 320Fb-L(R), 320Fb-M(R) カレンダー補正パッチ	—	1	CALREV02.ZIP
2	Express5800/320Fa-L(R), 320Fa-M(R), 320Fb-L(R), 320Fb-M(R) カレンダー補正パッチ 適用手順書 (Windows)	—	1	本書

第三者への譲渡

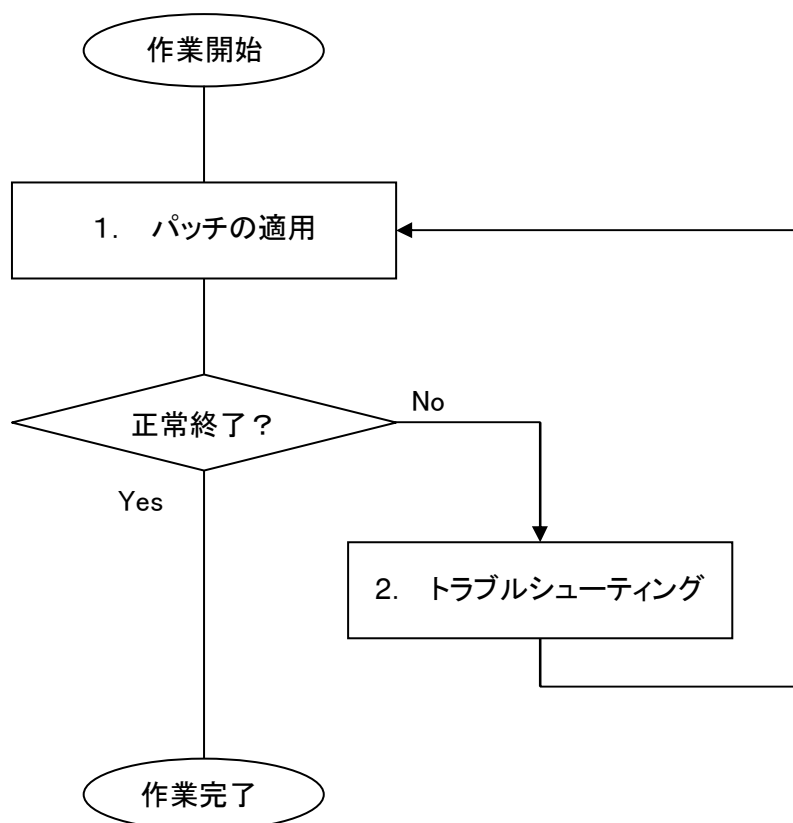
ご購入された Express5800/ft サーバを第三者へ譲渡(または売却)する場合には、カレンダー補正パッチの構成品一式を一緒にお渡しください。

注意事項

- ・ 本パッチの適用後、システムを再起動する必要はありません。
- ・ 本パッチは、一旦適用されると、日付不正が発生する全ての年をカバーします。
- ・ 本パッチの適用は、ローカルマシンの管理者権限が付加されたユーザで実施してください。
- ・ バージョン 4.013k-F(320Fa 装置用) 及びバージョン 4.014f-F(320Fb 装置用) 未満の EXPRESSBUILDER を使用してOSの再インストールを行う場合は、本パッチの再適用が必要になります(EXPRESSBUILDER のバージョンは CD-ROM 表面の印字をご確認下さい)

カレンダー補正パッチ適用の流れ

対象装置にカレンダー補正パッチ(以降、パッチと表記)を適用する手順を示します。



1. パッチの適用

下記の手順に従って、パッチを適用して下さい。

- 1) パッチファイル(CALREV02.ZIP)を任意のフォルダへ配置します。

※ Express Builder CD-ROMをお持ちの場合には、下記からコピーしてください。

「¥HAS¥W2K3¥HASSETUP¥RTC¥CALREV02.ZIP」

- 2) CALREV02.ZIP を右クリックし、メニューから「すべて展開」を選択します。表示された「展開ウィザード」の指示に従って、任意のフォルダに CALREV02.ZIP 内のファイルを展開します。

- 3) 展開されたファイルの中から SETUP.BAT を実行します。

- 4) 本パッチが正しく動作するためには、「Task Scheduler」サービスと「Windows Management Instrumentation」サービスが有効になっている必要があります。SETUP.BAT は、これらのサービスの状態を確認し、「サービスの状態」が「開始」ではない、または「スタートアップの種類」が「自動」ではない場合には、コマンドプロンプトウィンドウに下記のメッセージ(赤い枠内)を表示します。「Y」を入力してリターンキーを押すと、サービスの設定を変更してパッチの適用を続けます。「N」を入力してリターンキーを押すと、サービスの設定を変更せずにパッチの適用を終了します。この場合、パッチはインストールされません。

※ すでに、「サービスの状態」が「開始」に、「スタートアップの種類」が「自動」になっている場合には、本メッセージは表示されません。

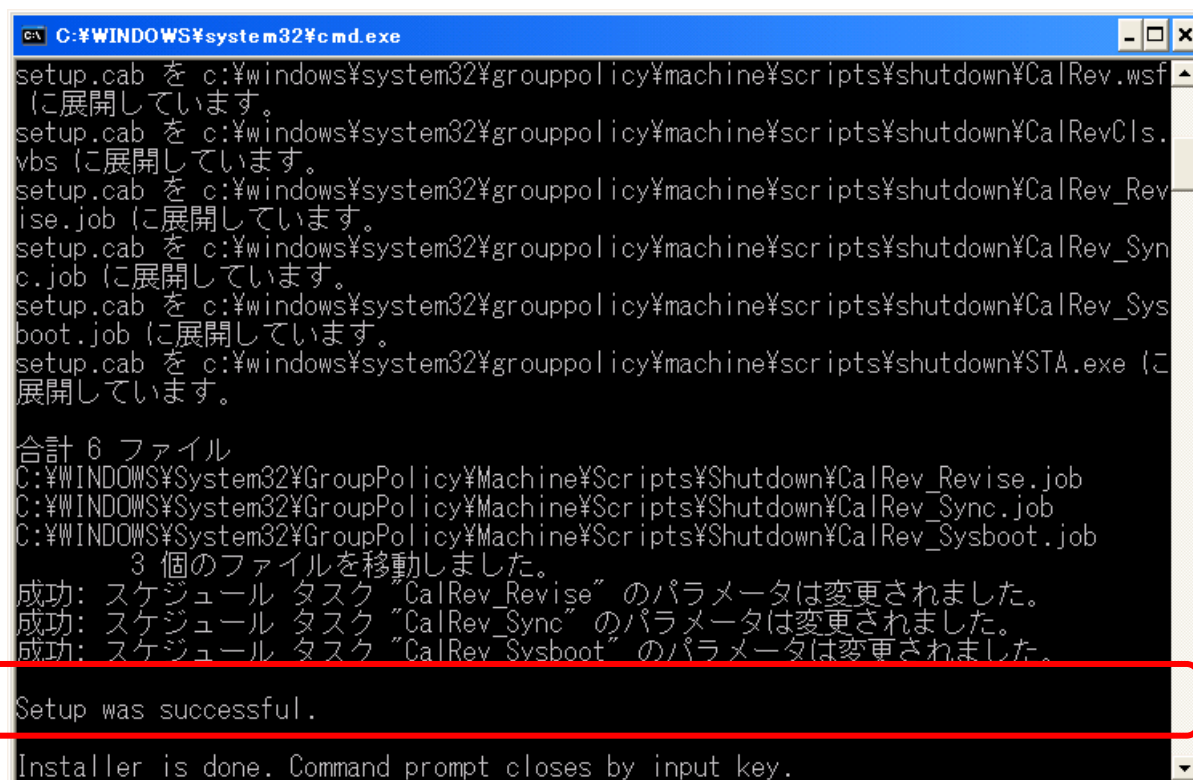


```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
NEC Express5800/320F series - Calendar Reviser
Setup command Version 2.1.0824.2010
Copyright (C) 2010 NEC Corporation. All rights reserved.

"Setup starts."

For this Calendar revise patch to operate properly, following two services
need to be turned on.
-Task Scheduler
-Windows Management Instrumentation
Do you proceed to turn on these services now? [Y/N]:
```

- 5) パッチの適用が成功すると、下記のように「Setup was successful」と表示されます。任意のキーを押してコマンドプロンプトを閉じてください。「Setup was successful」と表示されない場合には、「2. トラブルシューティング」を参照してください。



```

C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\CalRev.wsf
に展開しています。
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\CalRevCIs.
vbs に展開しています。
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\CalRev_Rev
ise.job に展開しています。
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\CalRev_Syn
c.job に展開しています。
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\CalRev_Sys
boot.job に展開しています。
setup.cab を c:\windows\system32\grouppolicy\machine\scripts\shutdown\STA.exe に
展開しています。

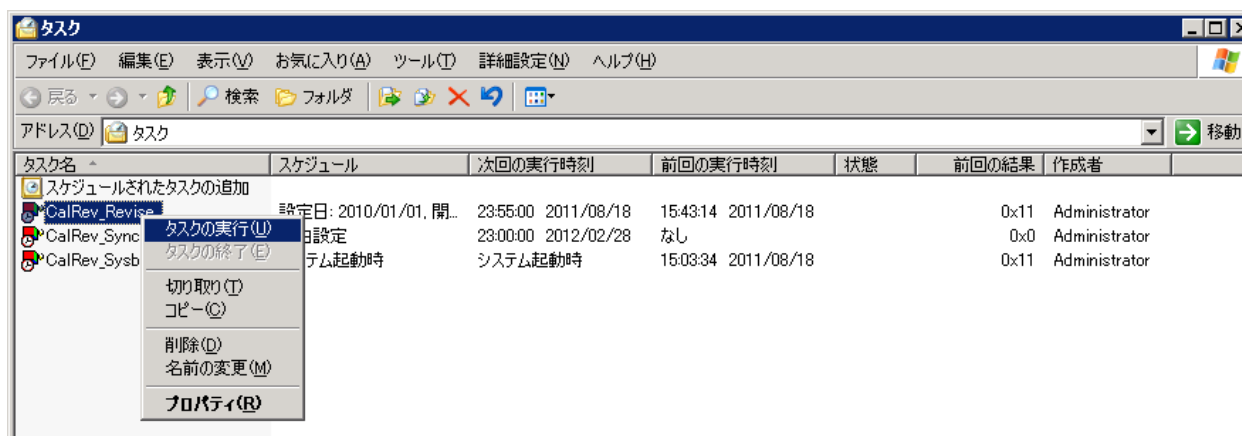
合計 6 ファイル
C:\WINDOWS\System32\GroupPolicy\Machine\Scripts\Shutdown\CalRev_Revise.job
C:\WINDOWS\System32\GroupPolicy\Machine\Scripts\Shutdown\CalRev_Sync.job
C:\WINDOWS\System32\GroupPolicy\Machine\Scripts\Shutdown\CalRev_Sysboot.job
3 個のファイルを移動しました。
成功: スケジュール タスク "CalRev_Revise" のパラメータは変更されました。
成功: スケジュール タスク "CalRev_Sync" のパラメータは変更されました。
成功: スケジュール タスク "CalRev_Sysboot" のパラメータは変更されました。

Setup was successful.

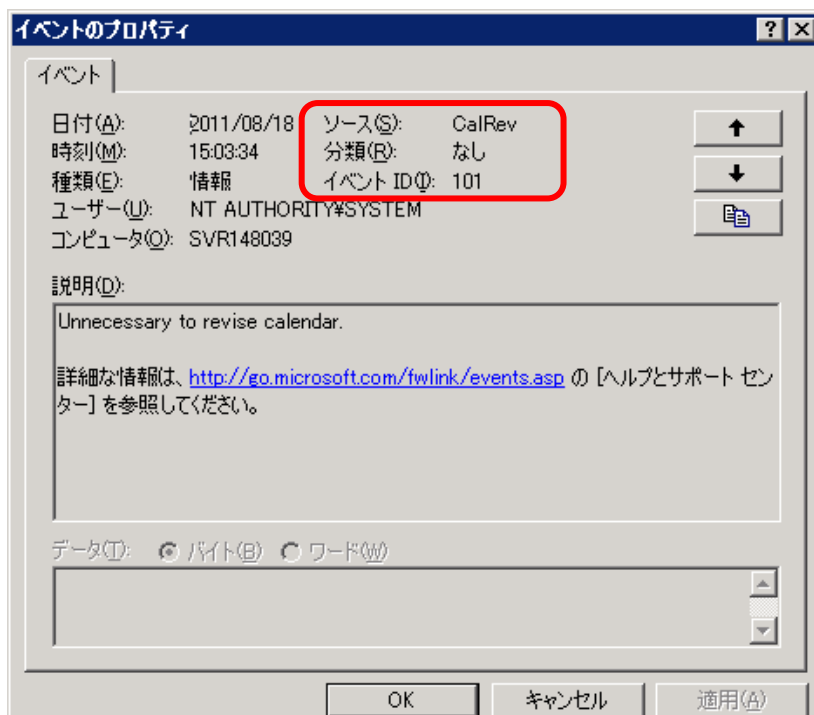
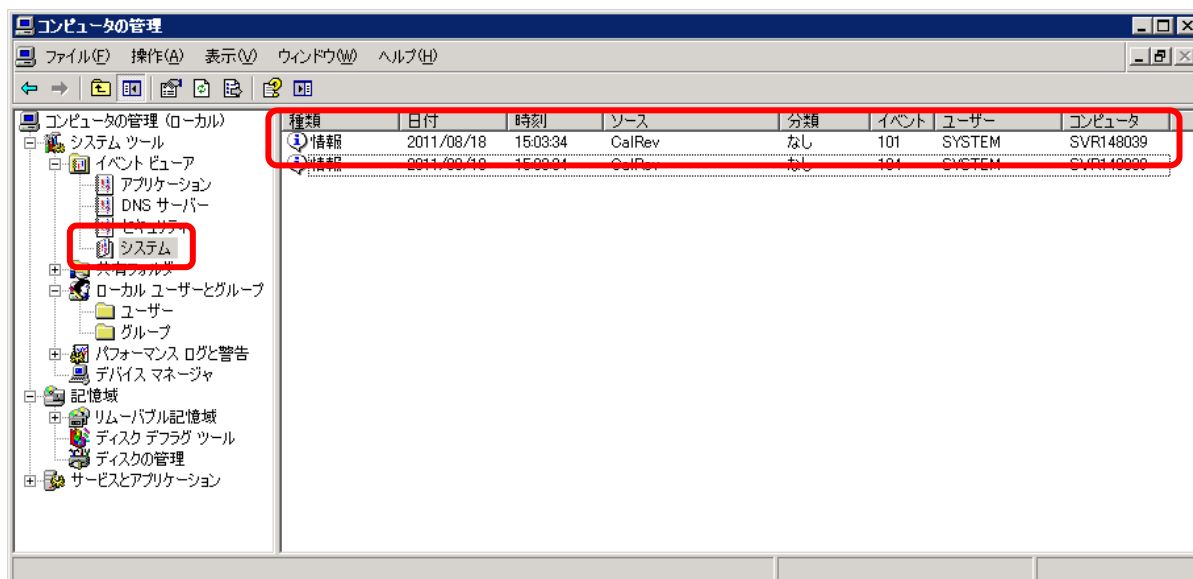
Installer is done. Command prompt closes by input key.

```

- 6) 次に、[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]→[タスク]を起動します。
- 7) [詳細設定]メニューを選択し、[隠しタスクを表示]にチェックを入れると、「CalRev_Revise」「CalRev_Sync」「CalRev_Sysboot」の 3 つタスクが表示されますので、その中の「CalRev_Revise」を右クリックし、[タスクの実行]を選択します。(※ システムのバージョンによっては、[隠しタスクを表示]ではなく[非表示のタスクの表示]となっている場合があります。)



- 8) 次に、[スタート]→[すべてのプログラム]→[管理ツール]→[コンピュータの管理]を起動します。スタートメニューに[コンピュータの管理]が登録されていない場合には、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]から「compmgmt.msc /s」と入力してください。
- 9) 左側のツリーから[システムツール]→[イベントビューア]→[システム]を選択し、下記のイベントログ(ソース:CalRev、ID:101)が登録されていることを確認してください。本イベントログが登録されていない場合には、「2. トラブルシューティング」を参照してください。また、別のイベントログ(ソース:CalRev、ID:104)も同時に登録される場合もありますが、これは正しい動作ですので問題ありません。



以上で、パッチの適用は完了です。

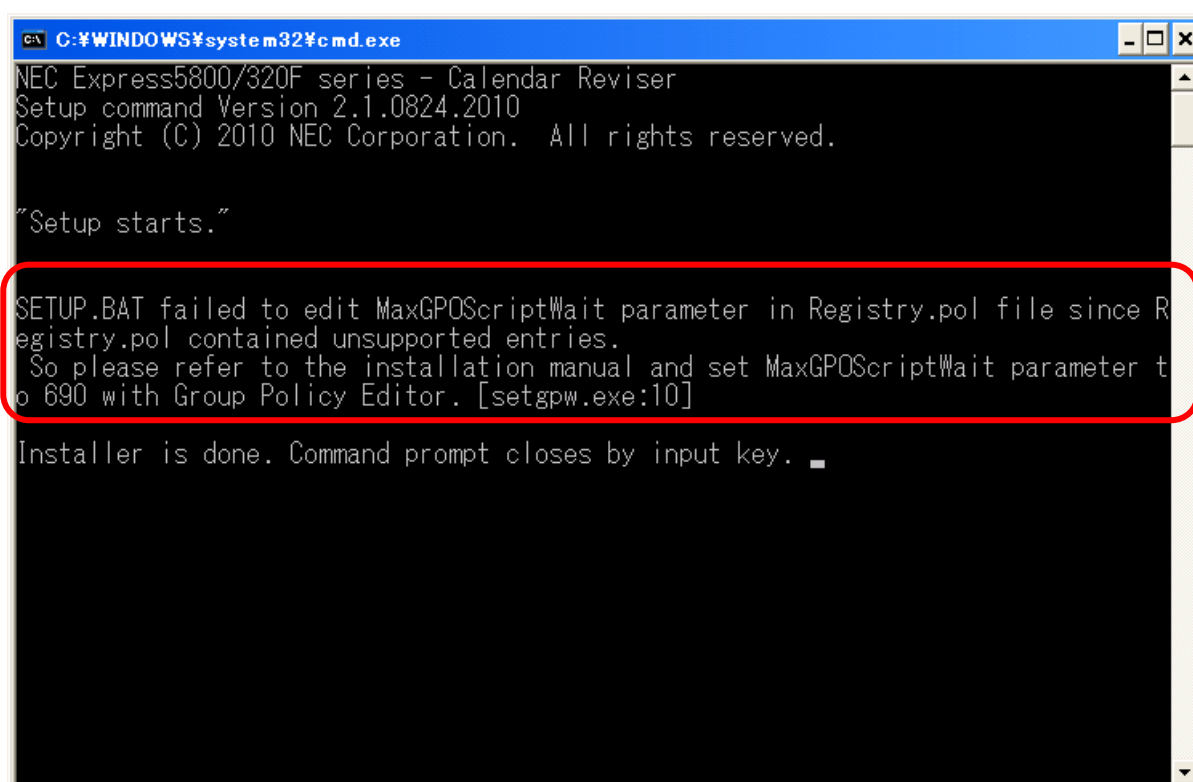
2. トラブルシューティング

[トラブル内容1]

SETUP.BAT を実行した際に、「Setup was successful」と表示されず、下記の赤枠で囲まれたメッセージ (setgpw.exe:10) が表示される。

[解決方法]

お客様のシステム設定によっては、本エラーが発生する場合があります。この場合には、まず「3. グループポリシーの設定」に従って、グループポリシーを設定してください。その後、SETUP.BAT を再実行してください。



```
C:\>C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
NEC Express5800/320F series - Calendar Reviser
Setup command Version 2.1.0824.2010
Copyright (C) 2010 NEC Corporation. All rights reserved.

"Setup starts."

SETUP.BAT failed to edit MaxGPOScriptWait parameter in Registry.pol file since R
egistry.pol contained unsupported entries.
So please refer to the installation manual and set MaxGPOScriptWait parameter t
o 690 with Group Policy Editor. [setgpw.exe:10]

Installer is done. Command prompt closes by input key. _
```


[トラブル内容3]

「1. パッチの適用」の手順 9)で、イベントログ(ソース:CalRev、ID:101)が登録されない。

[解決方法]

保守担当者にお問い合わせ下さい。

[トラブル内容4]

SETUP.BAT を実行した際に、「Setup was successful」と表示されず、上述以外のエラーメッセージが表示される。

[解決方法]

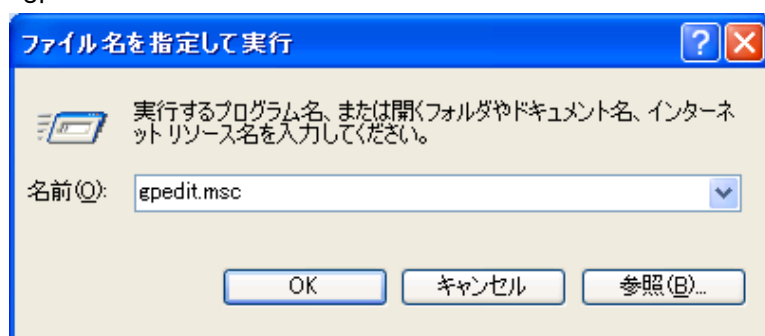
保守担当者にお問い合わせ下さい。

3. グループポリシーの設定

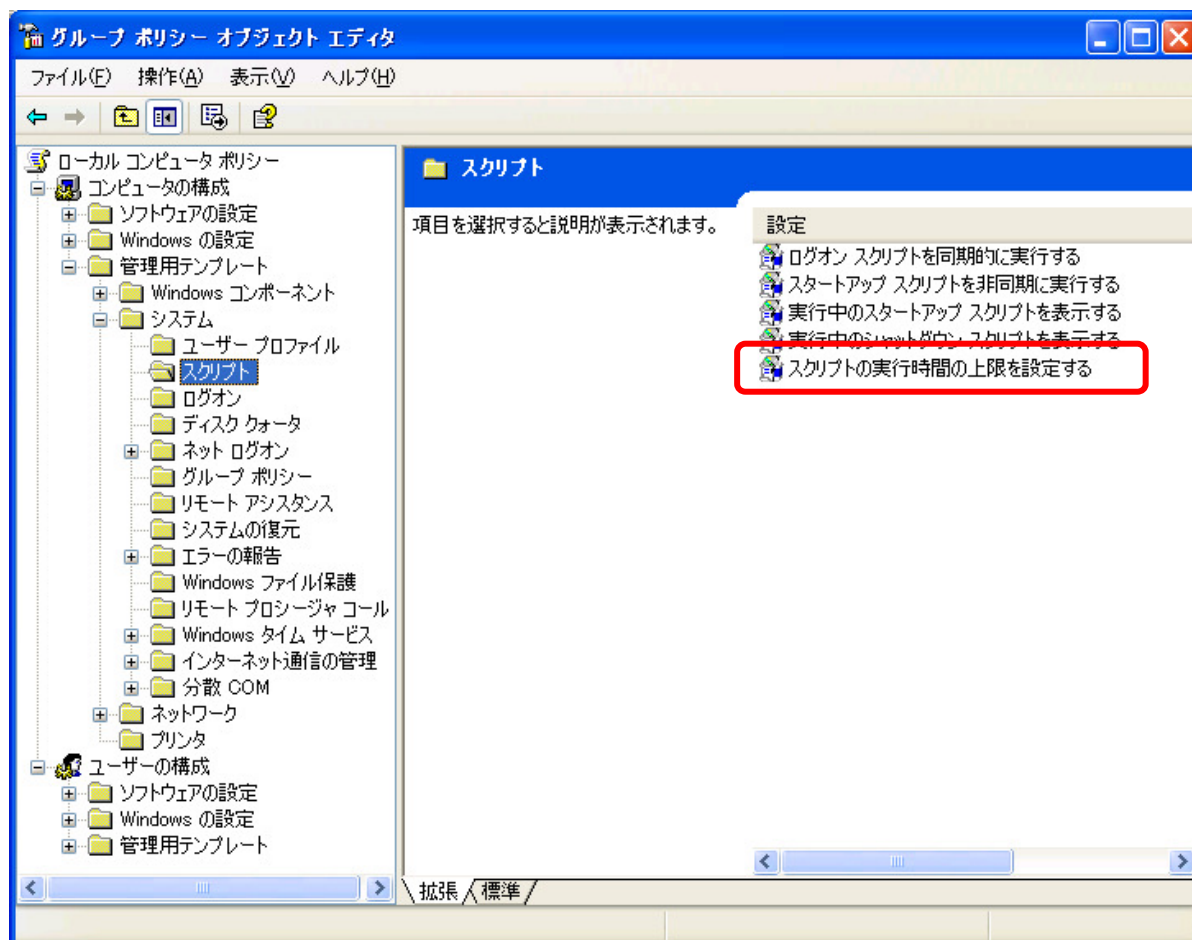
※ 本設定が必要になるは、6 ページに記載した[トラブル内容1]が発生した場合のみです。

下記の手順に従って、グループポリシーを設定します。

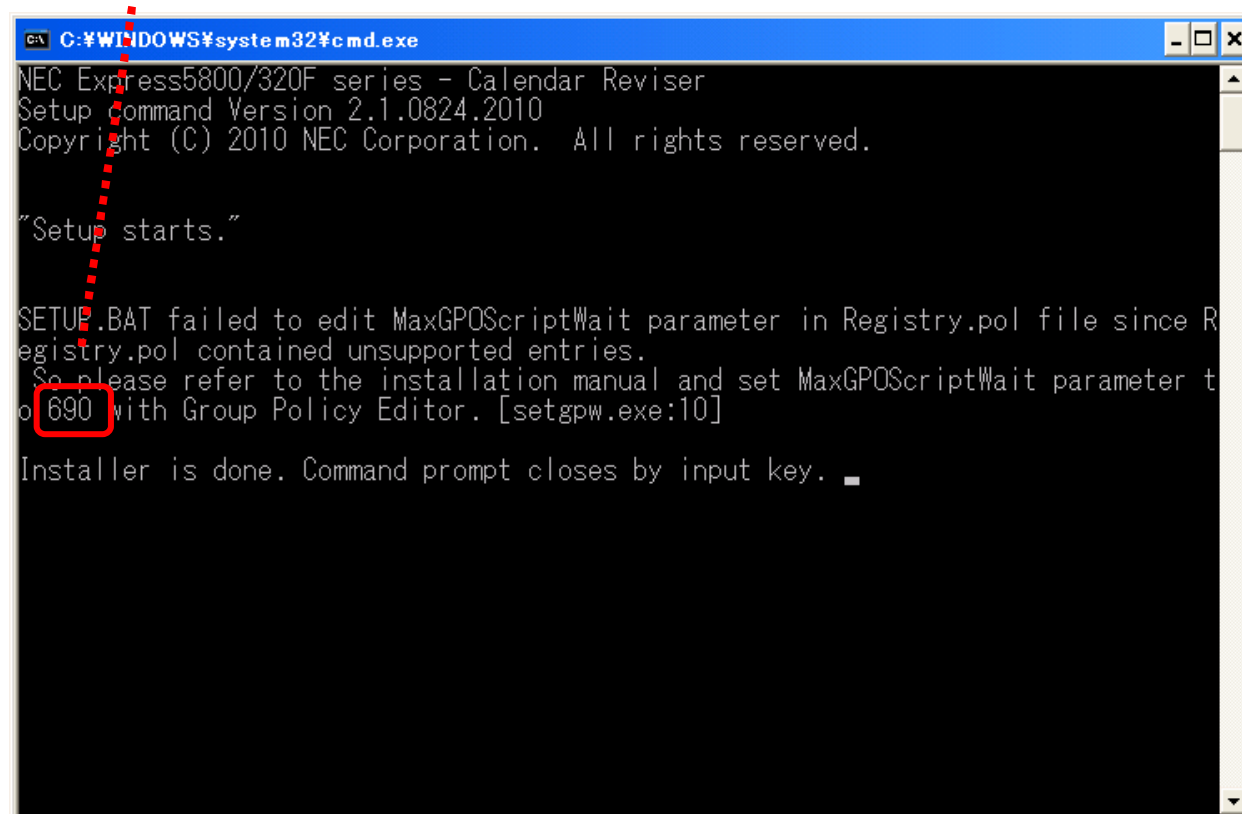
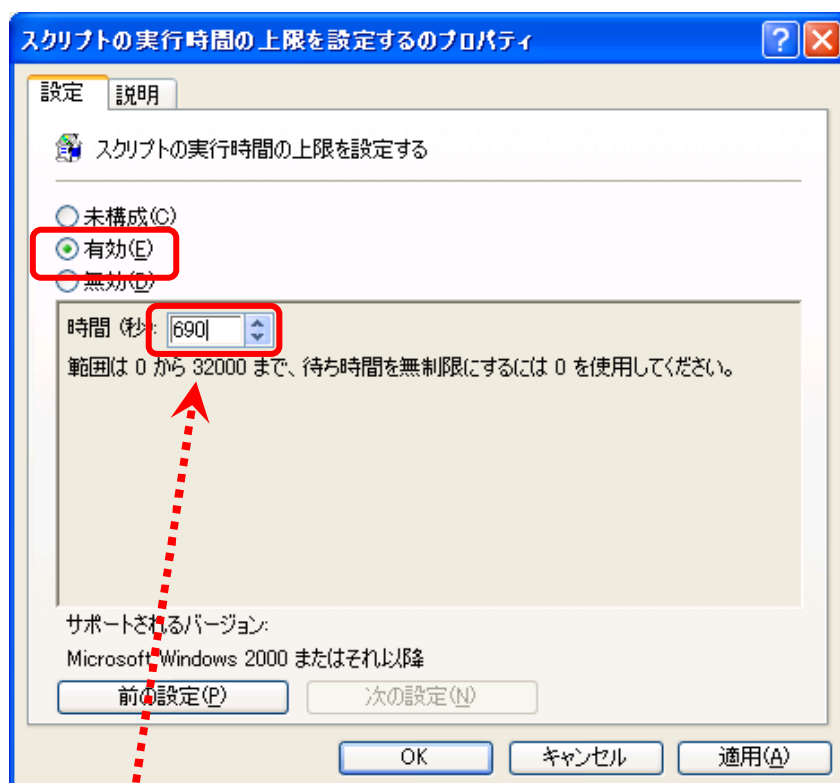
- 1) [スタート]－[ファイル名を指定して実行]から、「グループ ポリシー オブジェクト エディタ」管理コンソール (gpedit.msc)を起動します。

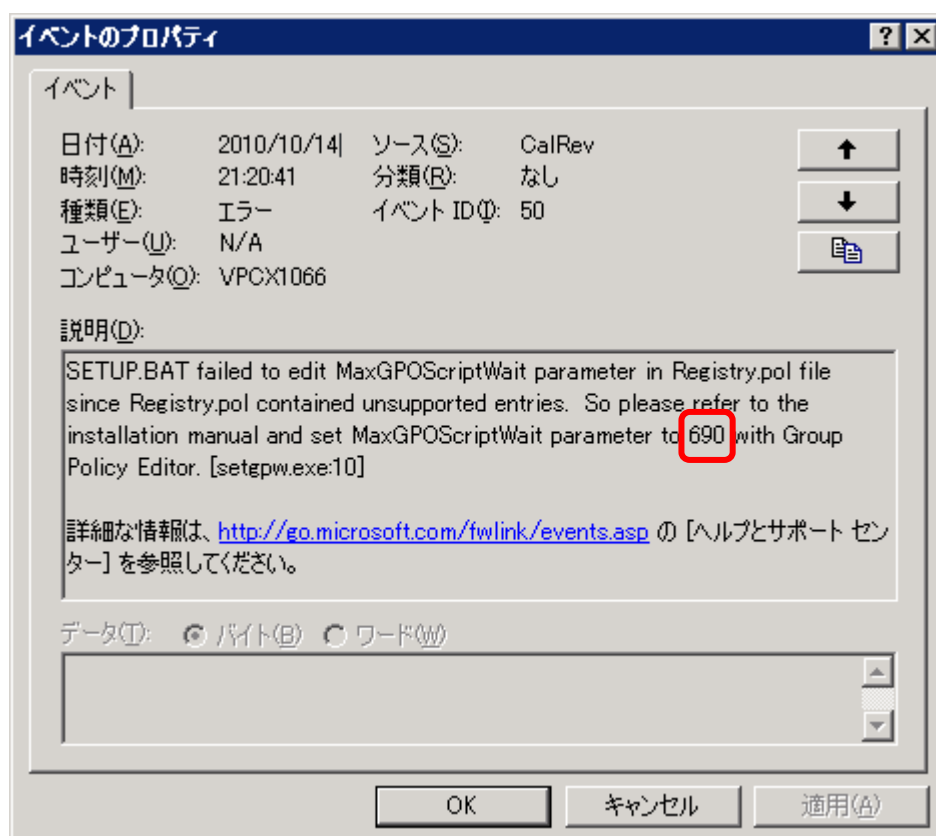


- 2) グループ ポリシー オブジェクト エディタから、[コンピュータの構成]－「管理用テンプレート」－[システム]－[スクリプト]を選択し、右側の画面に表示される[スクリプトの実行時間の上限を設定する]を選択します。



- 3) 右クリックして[プロパティ]を選択すると、[スクリプトの実行時間の上限を設定するのプロパティ]が表示されますので、[有効]を選択します。次に、[時間(秒)]のフィールドに「SETUP.BAT を実行した際に表示された数値(本例では、690)」を入力します。すでにコマンドプロンプトを閉じている場合には、イベントログを参照して数値を確認してください(次ページ参照)。





4) [OK]を選択し、[スクリプトの実行時間の上限を設定するのプロパティ]を閉じます。

5) グループ ポリシー オブジェクト エディタを終了します。

以上で、グループポリシーの設定は終了しました。

「1. パッチの適用」に戻り、再度 SETUP.BAT を実行してください。

4. パッチの動作状態の確認

本パッチをインストールすると、「①システム起動時」と、「②毎週日曜日の 23 時 55 分」に、パッチの動作状態を確認する処理が実行され、結果がイベントログ(システムログ)として登録されます。

A. パッチの動作状態に問題が無い場合

下記のイベントログ(ソース:CalRev、イベント ID:104)が登録されます。



B. パッチの動作状態に問題がある場合

下記のイベントログ(ソース:CalRev、イベント ID:305)がシステムログとして登録されます。



※「①システム起動時」、「②毎週日曜日の 23 時 55 分」に、上記のいずれのイベントログも登録されない場合には、パッチの動作状態に問題があります。保守担当者にお問い合わせ下さい。

また、「①システム起動時」と、「②毎日 23 時 55 分」に、下記のイベントログ(ソース: CalRev、イベント ID: 101)がシステムログとして登録されます。このログは、パッチが日時を確認した結果、補正の必要が無い場合に出力されます。これは正常な動作ですので、問題ありません。

